

深大寺・佐須地域農業公園の 整備内容について

令和3年1月

調布市環境部 緑と公園課 環境政策課
生活文化スポーツ部 農政課

➡ 計画上の位置付け

■ 都市計画マスタープラン

- ・都市農地の保全, 活用
市民と農のふれあい拠点(農の里)

■ 緑の基本計画

- ・農の里計画
～武蔵野のくらしの文化を伝える農の里づくり～

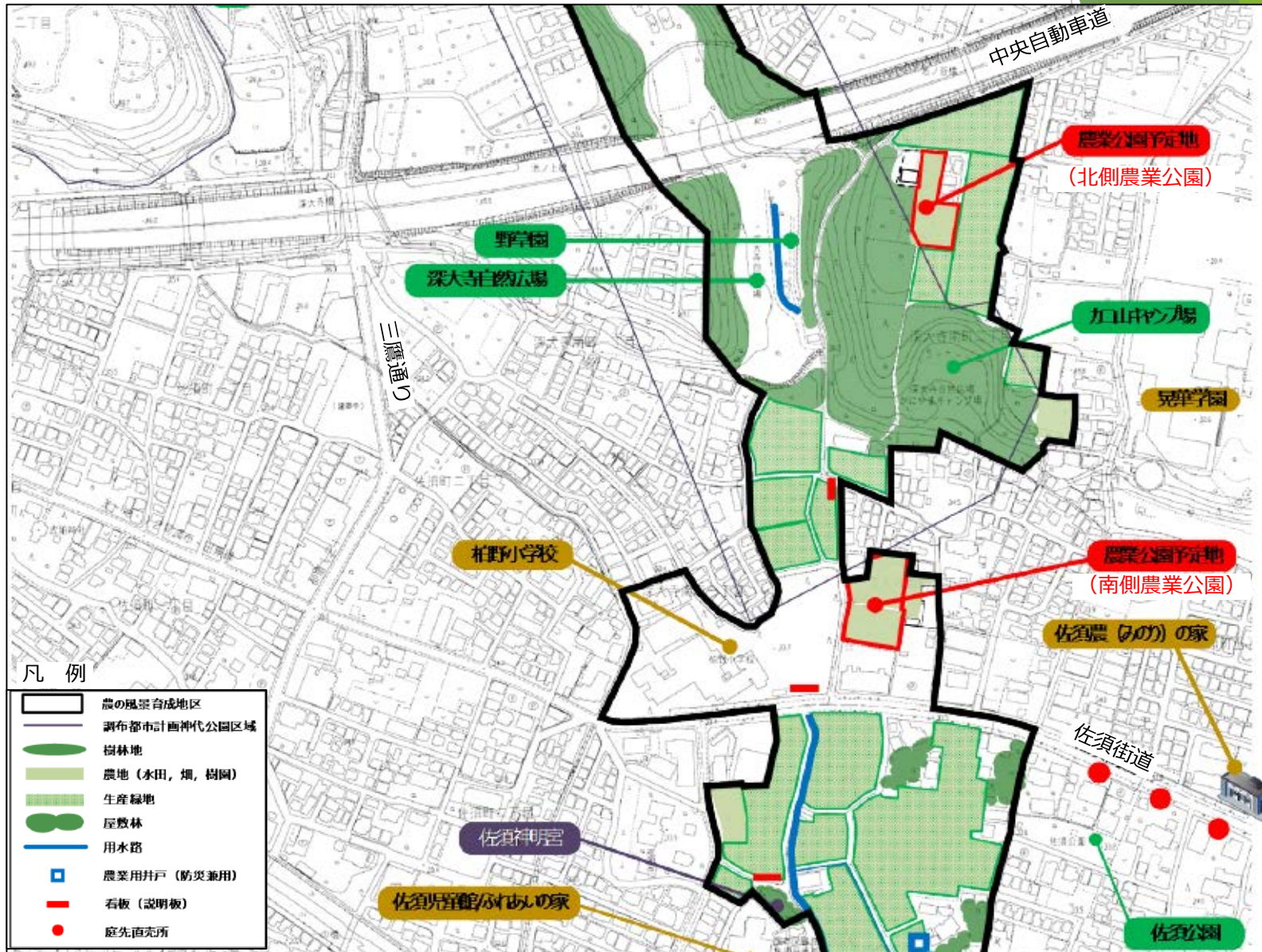
■ 深大寺・佐須地域環境資源保全活用基本計画

- ・未来へつなげたい, 都心に近い里山「深大寺・佐須ふれあいの里」

■ 農業振興計画

- ・くらし彩る調布市農業 ～持続可能な農業を目指して～
農地の保全活用 農のあるまちづくりの推進

位置図



➤ 整備・運営の基本的な考え方（案）

- (1) 多くの市民が休息，鑑賞，散歩，レクリエーション等に利用できる場であると共に，災害時の避難等にも活用できる公共空間を提供
- (2) 持続可能な農業に向け，市民の都市農業への理解促進を推進する場を提供
- (3) 多くの市民が農体験できる機会やマルシェ等の農に関するイベントを開催する場を提供
- (4) 農家や市民団体等が運営に参加することができ，連携・協働による地域の環境活動にも資する場を提供
- (5) 周辺の地域資源と連携した回遊・散策路として活用
- (6) 深大寺・佐須地域の田園景観と調和した景観形成に資する空間を提供



農業公園の活用イメージ（機能・利用形態）

【導入機能の例】

- 環境保全機能
- 景観形成機能
- 歴史・文化伝承機能
- 環境学習機能
- コミュニティ機能
- 都市農業の普及・啓発機能
- 防災機能 など

【利用形態の例】

○北側農業公園

- ・既存樹木をできるだけ活用するとともに、崖線樹林の一部を形成する樹木の植栽を行い、環境保全機能を持たせる
- ・圃場では、歴史文化伝承機能を考慮し、「秋冬期間のそばの栽培」を条件とした市民等への貸出し

○南側農業公園

- ・地域を中心に様々な主体が運営に携わることのできる市民協働参画の場としての活用
- ・学校との連携による、児童の「農」を活かした環境学習の場としての活用。
- ・収穫祭やマルシェなどの交流イベント
- ・子どもや初心者向けの収穫体験教室 など

➤ 農業公園への導入施設

農業公園内には、快適な利用や高い利便性を確保するため次の施設を導入します。

項目	農業公園に導入する具体的な施設	備考
園路・広場	園路, 広場	散策路, 管理用通路, イベント広場など
休養施設	パーゴラ, ベンチなど	
修景施設	植栽, 生垣	樹林地景観の再現, 目隠し植栽など
教養施設	分区園 (圃場) 体験学習施設 (圃場)	貸出圃場, イベント圃場, 小学生等農業体験学習用圃場など
便益施設	手洗い, 水飲み場, 便所, 駐車場, 駐輪場など	駐車場は, 管理者用として1台確保
管理施設	管理事務所, 倉庫, 標識, 門扉, 柵, 照明, 水道	



農業公園の導入施設規模

項 目		北側農業公園	南側農業公園	合 計
敷地面積		1,562㎡	2,617㎡	4,179㎡
ピーク時公園 利用者数	常時	25人	43人	68人
	小学生等農業体験学習時	-	143人	143人
	イベント開催時	-	93人	93人
圃場	貸出圃場	500㎡以上	1,600㎡以上	2,100㎡以上
	小学校体験圃場			
	イベント圃場			
園路・広場	広場	25㎡以上	約300㎡	325㎡以上
	主園路	W=2.0m	W=2.0m	W=2.0m
	補助園路	W=1.5m	W=1.5m	W=1.5m
休養施設	パーゴラ、ベンチ等	適宜配置	適宜配置	適宜配置
案内施設	案内板	1箇所	1箇所	2箇所
管理施設	フェンス、門扉	適宜配置	適宜配置	適宜配置
便益施設	洗場・水飲	1基	1基	2基
	駐車場	なし	1台（管理者用）	1台
	駐輪場	15台	39台	54台
建築物	管理棟	なし	1棟	1棟
	トイレ	なし	1棟	1棟
	倉庫	1棟	1棟	2棟